

1. 建学の精神・教育理念

三育学院は、明治31年（1898年）にセブンスデー・アドベンチスト教会（以下SDA）の宣教師ウィリアム・C・グレンジャーが創立した「芝和英聖書学校」を前身とする。以来、三育学院は一貫して聖書の福音を教育理念の根底に据え、「人間にとって最も大切なものは何か」の探求を教育の主眼としてきた。聖書はそれを次のように表現している。

「いつまでも存続するものは、信仰と希望と愛と、この三つである。このうちで最も大いなるものは、愛である。」（口語訳聖書 コリント人への第一の手紙 13章13節）

本学に学ぶ者が、聖書の示す愛を土台とし、神と隣人に対して十全な奉仕をするため、人間の備える知性（Intellectual）、身体（Physical）、霊性（Spiritual）の全ての面に最大限に発達させ、円満な人間形成を実現すること（To Make People Whole Through Christ's Love）、これが「三育教育」の目的である。

看護学科は、1928年に宣教師として来日した医師や看護師が創設した東京衛生病院看護婦学校（現東京校舎）のときから、一貫して全人的回復¹⁾をめざす看護〔Wholistic Nursing Care(ホリスティック ナーシングケア)〕を標榜し、神と人々に仕える看護師の育成に努め、現在に至っている。ホリスティック ナーシングケアとは、看護を行う者とその看護を受ける対象が共に、人間の尊厳の回復と維持、ならびに心と体と霊の調和のとれた健康の保持増進を目指し、常に「自分を愛するようにあなたの隣り人を愛せよ。」（口語訳聖書 マタイによる福音書 22章39節）とのキリストの言葉を具体的に実践する看護である。

上記の建学の精神を基として、看護師、保健師を育成し、以って広く社会に貢献することが本学の使命である。

注釈1) 全人的回復

聖書によると、神は、人間を身体的、精神的、社会的存在として、さらに、神と交わるスピリチュアルな側面を持った統合体として創造された。しかし、人間は、神から離れたために様々な問題を抱えるようになった。このような人間を神はなおも愛しておられ、本来の姿を回復するために働いておられる。全人的回復とは、神の愛を土台とし、人間存在全体の調和のある総合的な回復を意味する。

2. 本学の特色と将来に向けてのビジョン

(1) 本学では、イエス・キリストをモデルとした愛と奉仕の精神に裏付けられた“ホリスティック ナーシングケア”を実践する看護職の育成を目指している。そのため、自然環境豊かな千葉県大多喜町のキャンパスで50名という少人数の学生を対象に、キリスト教を基盤とした人間性の涵養のために、教育課程の中の宗教教育・学寮教育・労作教育を

通してきめ細やかな総合的な人間教育を行う。

(2) 短期大学および専門学校の学生との交流や、大学に隣接する住宅に住む教員・職員が、学生と親しく交流することができる教育共同体としてのキャンパスが本学の大きな特徴である。このような教育環境の中で、学生はSDAの掲げる健康的ライフスタイル（禁酒・禁煙・菜食・運動・賛美等）を自ら学習し、実践する経験を重ねることにより、将来、対象者への健康的ライフスタイルを啓蒙することが可能となる。

これらの特色は、幅広い教養と、援助的人間関係を形成するための基本的能力、健康的な生活習慣の獲得、そして高い公共性・倫理性を育成する上で教育効果が極めて大きい。

(3) ホリスティック ナーシングケアの提唱

本学は、自らが提唱するホリスティック ナーシングケア、およびスピリチュアリティの領域において必要な情報を収集し、検証に努め、継続的な研究を行う。これらの研究を積極的に行い、また、発表することによって看護専門職者を目指す者が、職業人としての自覚を高め、より円熟した看護のあり方を志すことができる。同時に、本学の標榜するホリスティック ナーシングケアおよびスピリチュアリティの重要性と必要性、またその意義を積極的に広く社会に提唱していきたい。

(4) 看護診断研究

看護学士として、高い看護実践能力を身に付けた職業人の養成を目指すということは、多様な状況下にある対象者の健康レベルや健康問題を適切にアセスメントする能力と、効果的な看護実践につなげていくために必要な看護過程を展開できる能力、クリティカルな思考を育成することである。

本学がかねて取り組んできた「看護診断」の領域において、米国のロマリンダ大学等とも提携しつつ研究を深め、国際的に十分認知され得る看護診断に関わる研究活動を展開する。

(5) 実践教育の重視

様々な年齢・健康レベルにある看護の対象者の個別性を尊重し、安全・安楽・自立をめざした看護を実践できる能力を育成するために、4年間を通して技術の向上に努めるとともに、実践的能力を修得するため、実習教育を重視する。

(6) 地域との連携

県南地域唯一の看護大学として地域看護研究を重視し、地域の医療と健康管理に積極的に関わり、地域の医療の実態を正確に把握し、適切な医療が実現されるよう、地域の行政、医療機関、諸団体と連携する。

地域看護学実習は、広く千葉県南地域において実施し、地域住民の福祉と医療の向上のため

めに必要な調査・研究に取り組み、改善にむけての提言、人材の提供を行うことによって地域に貢献する。

(7) SDAグローバルネットワークの活用

前述（「設置の必要性」の項）の通り、本学は、SDAグローバルネットワーク内の高等教育機関であり、本学の目指す教育および研究活動においてはこのネットワークをでき得る限り活用する。SDA系列大学の看護学部との実質的交流および協力により、最新の米国の看護を取り入れると共に、国際的視野を持った看護職者の養成を目指す計画である。本学卒業生は、同じ理念である海外の系列大学院への進学ルートが開かれており、学校は学生の進学ニーズに応え、具体的に留学に必要な手続きを積極的にサポートする。

3. 設置学校等

学校法人 三育学院

(事務所所在地) 〒298-0251 千葉県夷隅郡大多喜町久我原1500

電話：0470-84-0111 FAX：0470-84-0076

URL：<http://www.saniku.ac.jp> メール（代表）：info@saniku.jp

(1) 高等教育機関

学校名	学部・学科名	入学定員	開設年度
三育学院大学 学長：東出 克己	看護学部看護学科	50名	平成20年度
三育学院短期大学 学長：東出 克己	英語コミュニケーション学科 専攻科（現在四年制大学化）	20名	昭和46年 平成16年度
専門学校三育学院カレッジ 校長：東出 克己	神学科	30名	昭和51年
	キリスト教教育学科	30名	昭和51年

所在地：千葉県夷隅郡大多喜町久我原1500

(2) 中等教育機関

学校名 (校長)	開設年度	所在地
北浦三育中学校 校長：平田 理	昭和44年	茨城県行方市成田895

(3) 初等教育機関

学校名・機関名 (校長・園長)	開設年度	所在地
札幌三育小学校 校長：大河原一義	昭和 26 年	北海道札幌市北区拓北四条 1-14-1
函館三育小学校 校長：鈴木宏和	昭和 55 年	北海道函館市桔梗 5 丁目 26 番 1 号
久慈川三育小学校 校長：山本 幹雄	昭和 24 年	茨城県日立市留町 1097-2
光風台三育小学校 校長：渡辺 隆	昭和 25 年	千葉県市原市光風台 2-535
東京三育小学校 校長：堀井雅行	昭和 24 年	東京都練馬区関町南 2-8-4
横浜三育小学校 校長 落合 均	昭和 32 年	神奈川県横浜市旭区上川井町 1985
鹿児島三育小学校 校長：佐々木 求	昭和 28 年	鹿児島県鹿児島市平之町 14-21
札幌三育幼稚園 園長：村沢秀和	昭和 57 年	北海道札幌市北区北 35 条西 2-1-15
盛岡三育幼稚園 園長：柴崎 武	昭和 41 年	岩手県盛岡市上田 1-20-42
横浜三育幼稚園 園長：久保 司	昭和 58 年	神奈川県横浜市中区山手町 32
鹿児島三育幼稚園 園長：森 博光	昭和 56 年	鹿児島県鹿児島市平之町 14-21

4. 役員及び教職員に関する情報

< 学校法人 役員 >

2014 年 5 月 1 日付

理事長	理事数	評議員数	監事数
理事長：島田 真澄	10 名 常 勤：5 名 非常勤：5 名	21 名	2 名 常 勤：0 名 非常勤：2 名